



Yomeishu



第95期 株主通信

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)



養命酒製造株式会社

証券コード：2540

生活者の豊かな健康生活への
さらなる貢献を目指して

経営理念

生活者の信頼に応え、
豊かな健康生活に
貢献する

中期経営計画
(平成24年4月～平成27年3月)

基本方針

持続的成長に向けた
事業構造の変革



代表取締役社長

塩澤 太朗

平成25年6月

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。ここに、養命酒製造株式会社の第95期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の営業の概況をご報告いたします。

第95期の業績について

当期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかな景気の回復傾向が見られ、昨年末からは新政権による経済政策への期待感から円高の是正や株価の回復傾向が見られたものの、欧州債務問題の長期化や世界景気の減速に対する懸念等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。当社の関連業界におきましても、業種・業態を越えた企業間競争の激化や生活防衛意識の高まりによる生活者の節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とし、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」や「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」を主要戦略とする中期経営計画（平成24年4月から平成27年3月まで）の各施策に取り組んでまいりました。その施策の一環として、ハーブ関連の酒・食品商品開発や、埼玉県鶴ヶ島市にある社有地を有効活用した太陽光発電事業の開始に向けた準備に取り組みました。また、「養命酒」の効率的効果的な販売促進活動により、収益構造の一層の改善に努めました。

当期の業績は、「養命酒」の売上が堅調に推移したことにより、売上高は12,052百万円（前期比4.0%増）、営業利益は1,704百万円（前期比25.0%増）、経常利益は1,937百万円（前期比22.2%増）、当期純利益は1,242百万円（前期比42.6%増）と増収増益となりました。

中期経営計画

「持続的成長に向けた事業構造の変革」 （平成24年4月から平成27年3月まで）

当期の主要な施策

■新規事業領域の拡大と成長性の確保

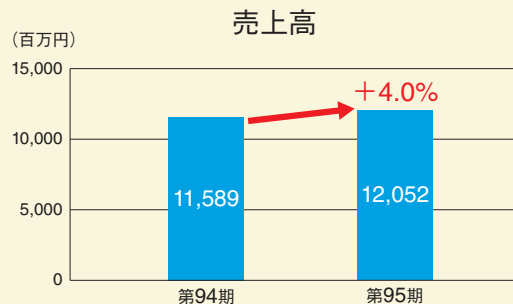
- ・ハーブ関連、酒・食品商品開発
- ・埼玉県鶴ヶ島市にある社有地における太陽光発電事業の開始準備

■養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築

- ・「養命酒」の効率的効果的な販売促進活動による収益構造の一層の改善

■「養命酒」の売上は堅調に推移

■売上高	前期比	4.0%増
営業利益	前期比	25.0%増



セグメントの状況

●養命酒関連事業●

「養命酒」の売上に「ハーブの恵み」、「家醸本みりん」、「ドリンク剤」、「ミネラルウォーター」、「Yomeishuオンラインショップ」の売上を合算いたしまして、養命酒関連事業の売上高は11,585百万円（前期比4.1%増）となりました。

主力商品「養命酒」

- ・効率的な販売促進活動を展開
- ・各種広告媒体において『「女は7の倍数、男は8の倍数」の節目年齢における養生』を共通のメッセージとして訴求
- ・冬季に「冷え」と「疲れ」をテーマとしたエリア毎の季節を意識したテレビスポット広告を実施
- ・広告と連動した店頭における販売促進活動を強化
- ・新規ユーザーの獲得に注力

海外

- ・各国の市場環境に即したマーケティング活動に取り組み、効率的な販売促進活動を展開
- ・「養命酒」の理解と知名度の向上に注力
- ・各国別のウェブサイトの活用や各種キャンペーンを実施
- ・商戦期にはテレビCMなど広告活動、販売促進活動を強化
- ・「ハーブの恵み」を商品名「MEGUMI」として輸出を開始し、現地ニーズの把握に着手

「ハーブの恵み」

- ・手軽に楽しめる缶タイプ「ハーブの恵み スパークリング」を加え、「香りがおいしいお酒」という酒類における新たな価値を訴求
- ・上期はテレビ、ラジオ、雑誌、インターネット、交通広告等によりプロモーションを展開
- ・下期は特定エリアに集中した折込広告やハンガー什器による販売促進活動を実施するとともに、小売店とのタイアップキャンペーンを実施

●施設運営事業●

「くらすわ」の売上に駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」の売上を合算いたしまして、施設運営事業の売上高は379百万円（前期比10.0%増）となりました。

「くらすわ」

- ・生活者の皆様のニーズや季節に応じた商品開発
- ・信州の素材を活かした料理メニューの充実やサービスの向上に注力
- ・夏季の観光シーズンには諏訪湖畔の立地を活かしたイベント等を開催、冬季には地元のお客様の利用促進に向けた活動を展開
- ・期間限定での首都圏における催事出店、オリジナル商品の通信販売、小売店への卸売等、販売チャネルの拡充

「養命酒健康の森」

- ・前期に引き続き年間来場者数10万人超

●その他●

不動産賃貸事業の売上高は、本店ビルのテナント賃貸収入減などにより、87百万円（前期比23.1%減）となりました。

株主の皆様へメッセージ

第96期は、中期経営計画の2年目として、その目標を達成すべく、「くらすわ」及び「ハーブの恵み」に加え、美容・健康への関心の高い生活者の皆様に向けた新商品の投入、輸出領域の拡大に向けた海外事業の推進や埼玉県鶴ヶ島市における太陽光発電事業開始に向けた取組み等、新規事業領域の拡大と成長性の確保を推進し、これらの施策に必要な投資を積極的に行い、「養命酒」以外の売上高の拡大を図ってまいります。また、コア商品「養命酒」の安定的な販売を堅持するため、効率的効果的な販売促進活動に努め、収益構造の一層の改善を行うとともに、原材料の安定的確保に取り組み、養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画最終年度の平成27年3月期には売上高130億円以上、営業利益率10%の維持、「養命酒」以外の売上高比率15%以上の実現を目指してまいります。具体的には、「薬用養命酒の効率的販売促進活動」、「収益構造の一層の改善」に取り組んでおり、「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」を実現し、「収益性の向上」を目指してまいります。

また、この安定的収益基盤を土台として、「ハーブ関連、酒・食品商品開発」、「くらすわ取扱商品開発」、「海外向商品開発」の各商品開発の強化と、「海外市場の領域拡大」、「販売チャネルの拡張」により「新規事業領域の拡大と成長性の確保」を実現し、「持続的成長」を目指してまいります。

中期経営計画最終年度 目標	
売上高	130億円以上
「養命酒」	110億円
「その他」	20億円
営業利益率	10%維持
「養命酒」以外売上高比率	15%以上

持続的成長と収益性の向上

新規事業領域の拡大と成長性の確保

ハーブ関連、
酒・食品商品開発

「くらすわ」取扱商品開発

海外向商品開発

海外市場の領域拡大

販売チャネルの拡張

- 「食べる前のうるる酢」
「フルーツとハーブのお酒」を
平成25年6月3日に新発売



- 「信州十四豚」メニューの充実
- ペーカリー商品開発、デリカテッセン開設
などの安心安全な新商品開発



- 「MEGUMI」のテスト輸出
- 新商品の輸出を検討



- 通販サイトリニューアル
- 通販商品から当社取扱商品の
通信販売サイトとして運営を拡大
- 新商品の取り扱いも6月以降順次開始

Yomeishu オンラインショップ

養命酒関連事業による
安定的収益基盤の構築

「薬用養命酒」の効率的販売促進活動

収益構造の一層の改善



「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という当社の経営理念を実現する重要な施策の一つとしてハーブ関連、酒・食品商品の開発に取り組み、「美容」と「健康」に着目した新商品を発売いたしました。

「食べる前のうるる酢」

美容系飲料として、「食べる前のうるる酢」を平成25年6月3日に関東（1都6県）のコンビニエンスストアにおいて新発売いたしました。

この商品は、日頃からエイジングケアを気にかけて、日常生活の中で美容や健康に良いものを求める女性に向けた商品です。

お食事やおやつの前のご利用（飲むベジタブルファースト）でさらに女性の“美”をサポートします。



希望小売価格：1本133円（税別）

製品特長

お酢をベースに、「AGハーブMIX™」※というハーブ由来の美容素材と「難消化性デキストリン（レタス約1個分の食物繊維）」を配合した女性の美をサポートする美容系飲料です。糖類を加えず、低カロリーにこだわりました。（1本140mlあたり10kcal）

※「AGハーブMIX™」は4種類のハーブ（ドクダミ、セイヨウサンザシ、ローマカミツレ、ブドウ葉）から抽出した新しいエイジングケア素材で、アークレイ株式会社の登録商標です。

「フルーツとハーブのお酒」 ～「檸檬とハーブのお酒」「林檎とハーブのお酒」～

「おいしさ」や「美容」を追求した「檸檬とハーブのお酒」「林檎とハーブのお酒」を平成25年6月3日に全国で新発売いたしました。

“キレイをサポートするハーブ”と“女性が好きなフルーツ味のカクテル”の魅力をミックスしました。

お食事と一緒に、リラックスタイムに、おやすみ前の一杯に。氷を入れたグラスに注ぐだけの簡単スタイルで、また、お好みでソーダで割ってお召し上がりいただけます。

製品特長

・『檸檬とハーブのお酒』（写真左）

クコの実、ローズマリー、紅花、ハトムギ、クロモジを使用し、「うるおい・温める・保つ」の3つの恵みをレモネード風味でおいしく仕上げた「フルーツとハーブのお酒」です。

・『林檎とハーブのお酒』（写真右）

ハスの葉、小豆、シャゼンシ、冬葵、シナモンを使用し、「すっきり・温める・ほぐす」の3つの恵みをアップルパイ風味でおいしく仕上げた「フルーツとハーブのお酒」です。



希望小売価格：1本380円（税別）
容量：300ml

「信州ブランドアワード」は、長野県から発する優れたブランドを選考して表彰するものです。

当社は、平成16年に商品ブランド「養命酒」が入賞しておりましたが、信州ブランドアワード2012において、コーポレートマークが企業ブランド部門で大賞をいただきました。

今回はショップやレストランの商業施設「くらすわ」や、駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」等のサービス事業も加えて、改めて企業ブランドとして選ばれました。

評価ポイントである「志向性」については、東洋医学に基づいた「養命酒」の本質を守りつつ、厳重な品質管理により安心・安全な製品を造り続けてきたことが評価され、「表現性」「情報伝達性」については、「養命酒」の効能を直接訴求できるよう、早くから全国にTVCM他のPRを実施してきたことが評価されました。また、「継続発展性」については、新たなサービス事業に参入して直接お客様と接し、ニーズを汲み取って商品開発やサービスの向上に努めてきたことが評価され、総合的に最も高い評価をいただくことができました。



Yomeishu



授賞式の様子

中央アルプス駒ヶ根高原マラソン大会協賛

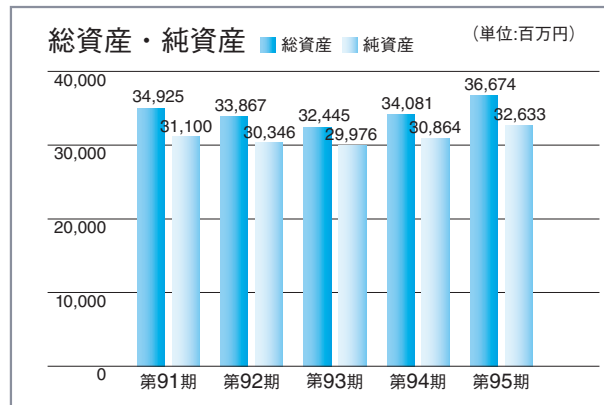
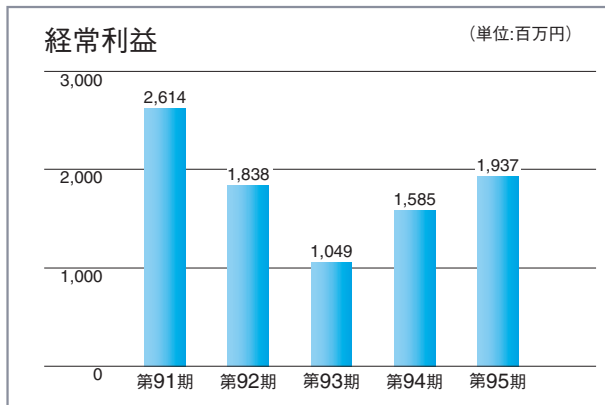
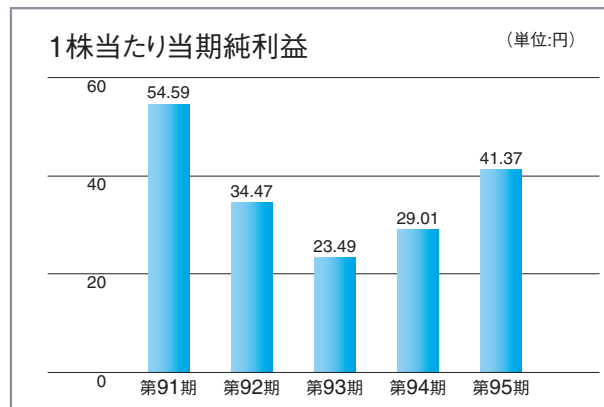
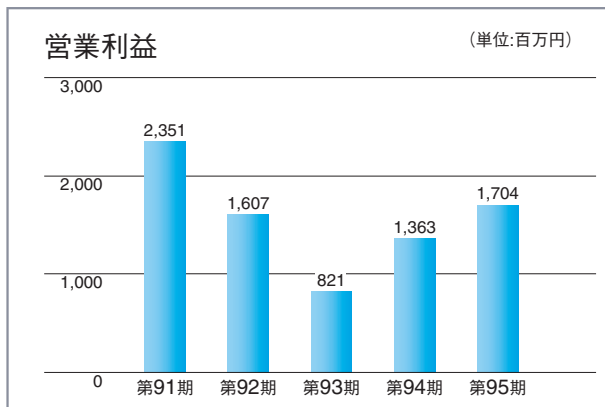
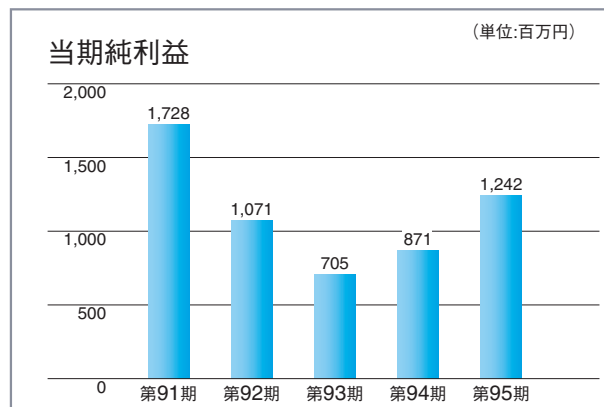
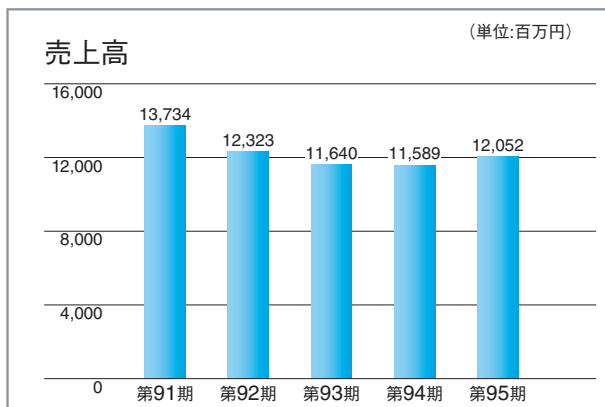
当社では、CSR活動の一環として、「中央アルプス駒ヶ根高原マラソン大会」へ当社商品「養命水」の提供などの協賛を行ってまいりました。平成19年からは、毎年20名程の従業員が給水所のボランティア活動に参加し、駒ヶ根工場正門前の道路を通過する多くのランナーに手渡しで給水を行い、マラソン当日の朝にはランナーが転ばないように工場周辺のコースの清掃作業を実施しています。



駒ヶ根工場正門前給水所



従業員によるコースの清掃活動



貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産	8,772	9,802
固定資産	25,309	26,871
有形固定資産	6,841	7,035
無形固定資産	41	24
投資その他の資産	18,425	19,812
資産合計	34,081	36,674
負債の部		
流動負債	2,241	2,377
固定負債	975	1,663
負債合計	3,217	4,040
純資産の部		
株主資本	30,386	31,086
資本金	1,650	1,650
資本剰余金	676	676
利益剰余金	30,943	31,645
自己株式	△2,883	△2,885
評価・換算差額等	478	1,546
その他有価証券評価差額金	478	1,546
純資産合計	30,864	32,633
負債純資産合計	34,081	36,674

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

ポイント

貸借対照表

【総資産】 前期末に比べ2,593百万円増加し、36,674百万円となりました。これは主に長期預金が500百万円減少した一方で、現金及び預金が1,165百万円、保有株式の時価評価の増加等により投資有価証券が1,902百万円それぞれ増加したことによるものです。

【負債】 前期末に比べ823百万円増加し、4,040百万円となりました。これは主に未払金が178百万円、保有株式の時価評価の増加等により繰延税金負債が594百万円それぞれ増加したことによるものです。

【純資産】 前期末に比べ1,769百万円増加し、32,633百万円となりました。これは当期純利益1,242百万円の計上及び配当金540百万円の支払いにより利益剰余金が702百万円、その他有価証券評価差額金が1,068百万円それぞれ増加したことによるものです。

損益計算書

【売上高・利益】 「養命酒」の売上が堅調に推移したことにより、売上高は12,052百万円（前期比4.0%増）、営業利益は1,704百万円（前期比25.0%増）、経常利益は1,937百万円（前期比22.2%増）、当期純利益は1,242百万円（前期比42.6%増）と増収増益となりました。

キャッシュ・フロー計算書

【営業活動によるキャッシュ・フロー】 営業活動の結果増加した資金は、1,914百万円（前期比1.8%減）となりました。これは主に税引前当期純利益1,923百万円、減価償却費563百万円、減損損失177百万円、法人税等の支払額732百万円によるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】 投資活動の結果減少した資金は、1,609百万円（前期比139.6%増）となりました。これは主に有価証券の償還による収入1,000百万円、有形固定資産の売却による収入333百万円により増加した一方で、定期預金等の純増による支出800百万円、有形固定資産の取得による支出907百万円、投資有価証券の取得による支出1,300百万円により減少したことによるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】 財務活動の結果減少した資金は、540百万円（前期比0.2%減）となりました。これは主に配当金の支払額539百万円によるものです。

損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前事業年度	当事業年度
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	11,589	12,052
売上原価	3,894	3,940
売上総利益	7,694	8,112
販売費及び一般管理費	6,331	6,407
営業利益	1,363	1,704
営業外収益	240	248
営業外費用	19	16
経常利益	1,585	1,937
特別利益	-	179
特別損失	225	192
税引前当期純利益	1,359	1,923
法人税、住民税及び事業税	618	680
法人税等調整額	△130	0
当期純利益	871	1,242

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前事業年度	当事業年度
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,950	1,914
投資活動による キャッシュ・フロー	△671	△1,609
財務活動による キャッシュ・フロー	△541	△540
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	737	△234
現金及び現金同等物の 期首残高	2,829	3,566
現金及び現金同等物の 期末残高	3,566	3,331

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

（平成25年3月31日現在）

社名	養命酒製造株式会社 YOMEISHU SEIZO CO., LTD.
本店所在地	〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16番25号 電話 03-3462-8111 FAX 03-3462-8340 URL http://www.yomeishu.co.jp/
事業所	大阪支店、福岡支店、駒ヶ根工場、 中央研究所、施設運営事業部（くらすわ）
設立	大正12年（1923年）6月20日
資本金	16億5,000万円
上場	東証市場第1部、名証市場第1部
事業内容	養命酒、酒類及び医薬品等の製造・販売 飲食店及び売店の経営 不動産の賃貸
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	268名

（平成25年6月27日現在）

役員	代表取締役会長	川村昌平
	代表取締役社長	塩澤太朗
	常務取締役執行役員	竹村彰司
	常務取締役執行役員	田中英雄
	取締役執行役員	吉松敬雄
	取締役執行役員	大森勉
	取締役執行役員	宮下久宜
	取締役執行役員	神林敬
	常勤監査役	中川博之
	監査役	笠原孟
監査役	井出正一	
監査役	斉藤隆	

■ 上位10名の株主（平成25年3月31日現在）

株主名	持株数
大正製薬ホールディングス株式会社	6,600千株
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,549
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,487
株式会社八十二銀行	1,300
トーア再保険株式会社	1,096
大同生命保険株式会社	603
株式会社三井住友銀行	529
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	472
キッコーマン株式会社	442
株式会社十八銀行	423

（注）当社は、自己株式を2,957千株保有しておりますが、上記上位10名の株主からは除外しております。

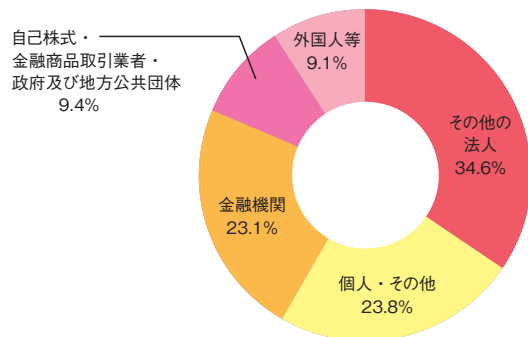
■ 株主メモ

証券コード	2540
一単元の株式数	1,000株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
同総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
公告掲載方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.yomeishu.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

■ 株式の状況（平成25年3月31日現在）

発行可能株式総数	132,000,000株
発行済株式の総数	33,000,000株
株主数	3,145名

■ 所有者別株式分布状況（平成25年3月31日現在）



■ 株式に関するお手続きについて

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> ● 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様 口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ります。 ● 特別口座に当社株式が記録されている株主様 左記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。
未受領配当金のお支払い	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。



養命酒製造株式会社
東京都渋谷区南平台町16番25号
TEL : 03-3462-8111 (代表) FAX : 03-3462-8340